

平成十八年度 春季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「春」

期間 平成十八年二月一日～四月末

投句数 一、九二九句

特選三句

天

鎌倉や栄枯盛衰実朝忌

東京都練馬区 山根真五

地

惜春の大仏の背に窓二つ

神奈川県横浜市 柳沢栄蔵

人

鎌倉の赤い椿に逢いに行く

神奈川県横浜市 山下省三

入選句

一般の部

春時雨実生の松の霰して

神奈川県横浜市

野口 聖

忌を修す木魚の音や冴え返る

神奈川県鎌倉市

友成節子

梅二月寿福寺さまの石疊

東京都世田谷区

中村芳子

竹林の奥に初音や東慶寺

神奈川県座間市

吉倉幸雄

ひとひらに光抱きて散る桜

神奈川県横浜市

葭谷健一

踏切に今もたんぽぽ寿福寺へ

埼玉県狭山市

古谷彰宏

芽柳に青き風あり神の池

神奈川県鎌倉市

幸田起代子

梅ヶ香や漱石偲ぶ帰源院

神奈川県鎌倉市

荻野英利

けぶるかに虚子忌すぎたり古都は雨

神奈川県鎌倉市

金井健吉

連翹の跳ねたる枝の籬かな

千葉県富津市

榎本静江

夜は夜の白さを持てり雪柳

神奈川県逗子市

佐藤信子

鎌倉に海の風ありさへづれる

埼玉県加須市

岡安紀元

春暁や托鉢僧を駅頭に

神奈川県鎌倉市

遠藤金子

満開の花の下行く人力車

神奈川県鎌倉市

山内愛子

白無垢の花嫁と会ふ梅日和

神奈川県横浜市

伊藤とく

由比が浜踏めば砂泣く実朝忌

神奈川県横須賀市

山口義一

供へある立子の墓の土筆かな濱

兵庫県神戸市

大谷弘子

鎌倉の山おほらかに笑ひけり

千葉県浦安市

福田迪子

それぞれに待合はす人花の駅

神奈川県藤沢市

小松美都子

梵鐘の余韻のどかに禅の寺

神奈川県鎌倉市

兵藤寿恵

(順不同)

入選句

子どもの部

大仏が春が来たよとほほえんだ

東京都足立区

岡本可奈

大仏の眠りを誘う春の風

東京都足立区

松本知仁

はるのつきだいぶつさまもながめてる

三重県伊賀市

辻井泉穂

みみすますきこえてくるよはるのこえ

神奈川県横浜市

木村北斗

春の雲大仏すこしうごいたよ

群馬県前橋市

長谷川うらら

石段をのぼりつつ見る桜かな

静岡県富士市

渡邊詩日

春の海波がくるたび人の声

東京都世田谷区

福原菜月

由比ヶ浜きれいだったな春の砂

東京都世田谷区

久保田耀子

風光る海のむこうは水平線

東京都世田谷区

玉井佑季

桜ちる入学式までさいていて

神奈川県鎌倉市

富田夏菜

(順不同)